

# news.



米国で通信法が改正されたが、一部インターネットでの表現の自由を脅かす条項があるとして抗議運動が起こった。240ページへ。

1年前は30社しかなかったプロバイダーがついに200社を突破した。当時から低料金を武器に市場を開拓してきたベッコアメとリムネットは相次いでNSPIXに接続し、バックボーンを増強した。しかし電子決済インフラが構築されなければインターネットビジネスの時代はこない。カード会社やソフトメーカーの動きがあわただしくなっている。インターネットに関心がある層は今やパソコンユーザーだけではない。「ピピンアットマーク」は3月下旬に発売される。

## ピピンアットマークがよいよ発売 専用ネットワークサービスも開始

バンダイデジタルエンタテインメントは、インターネットに簡単に接続できるパーソナル端末「ピピンアットマーク」を3月下旬に発売する。パワーPCを採用し、パソコン並みの性能を持ちながら、機能は通信とCD-ROMプレイヤーに特化している新コンセプトの製品である。専用の14.4Kbpsモデムと組み合わせることにより、テレビをモニターにしてインターネットを楽しむ。

操作は家庭ゲーム機のようにコントローラを使い、キーボードは画面に現れるが、基本ソフトがマッキントッシュと共有できるので、マック用のキーボードやマウス、ブ

リンターなども接続することができる。

インターネット接続には標準添付されている「Internet Kit」のCD-ROMを使う。ボタンを押すだけで専用のネットワークサービス「アットマークネット」に接続することができる。接続料金は、月額10時間まで使える最低料金が2000円、追加従量課金が1分10円。アクセスポイントは14か所にある。WWWは付属のNetscape Navigator日本語版を使って、電子メールは「テレビワークス」というワープロ・お絵描き機能などを統合したソフトを使って利用できる。

1月に新聞紙上で募集したピピンアットマークの無料モニターには10万4000件の応募があり、そのうち2割が女性だったという。価格はモデムなどを合わせて64,800円。低

年齢層や、これまでパソコンに無関心だった層など、新しいマーケットを狙っている。

こうした5万円前後のインターネット端末の発売はセガエンタープライゼズや日本電算機も発表しており、今後の動きが注目される。

問い合わせ バンダイデジタルエンタテインメント サポートセンターTEL03-3864-5588

URL <http://www.bdec.co.jp/>



## プロバイダー情報

### プロバイダー200社突破！ 急激な増加は依然として続く

全国で新規プロバイダーの増加が激しい。12月に引き続いて、年明けから2月前半にかけてもプロバイダーの増加は続いている。編集部調べによると、2月1日現在でサービスを開始しているプロバイダーは200組織を超えた。1年前には30社ほどだったが、わずか1年でのこの伸び率には驚かされる。

最近の傾向としては、ISDNのアクセスポイントの充実が目立っている。各地で大都市以外でのISDNアクセスポイントが増えてきており、各地域とも同期、非同期両方式での接続が可能という地域が多くなっている。

首都圏、近畿など、大都市のプロバイダーの増加の勢いは相変わらず衰えていない。宮城県や三重県、高知県、島根県などを始め、各地域で地元の資本による参入も依然として活発である。ただ、青森県や秋田県ではアクセスポイントを設置しているプロバイダーが少なく、まだ地元の資本による参入はない。200組織を超えたといっても、まだ日本全国にまんべんなくアクセスポイントがあるという状況ではないので、これからが期待される。

### ベッコアメがバックボーンを増強 オンラインサインアップの新料金も

既存のプロバイダーでバックボーンを増設が目立つのはベッコアメ・インターネットだ。1月にバックボーンの回線を大幅に増強した。従来はIJJに1.5Mbpsでの接続だったが、新たにNSPIXPに1.5Mbps、グローバル・スプリント・リンクに1.5Mbpsで接続した。また、料金設定が改訂され、加入方法によって料金体系が異なるように

設定された。新たに設定された料金は、オンラインサインアップによる申し込みの場合、初期費用20,000円、月額1,000円。次年度からは登録更新費として、1年ごとに10,000円かかる。なお、郵送による申し込みの場合、従来と同様、初期費用10,000円、年額固定で20,000円となっている。

また、従来までグローバル・スプリント・リンクの海外への回線の帯域は非公開だったが、このほど公開された。アメリカの「Sprint Link」とは6Mで接続しているとのことだ。

### リムネットもバックボーン増強 NSPIXPに1.5Mで接続

さらに、リムネットが2月末ごろからバックボーンを増強する予定であることを発表した。同社はIJJと512K、KDDインターネットと1.5Mで接続しているが、新たにNSPIXPと1.5Mで接続する予定だ。2月中旬現在、増設の正式な期日は未定となっている。

### ビーイングがサービス名変更 新名称は「ALESS NET」

不動産会社向けのソフトウェア会社、ビーイングは昨年12月から接続サービス「ビーイングネット」を開始していたが、2月からサービス名を変更する。新しいサービス名は「ALLESNET（アレスネット）」で、問合せ先、料金などの変更はない。

### ニフティサーブに続き PC-VANがPPP接続開始

1月のニフティサーブのPPP接続サービス開始に続き、大手パソコン通信サービスのPC-VANも、2月22日にPPP接続サービスを開始する。これはPC-VANのすべての

会員に対して提供されるものではなく、高速対応料金制を申し込んでいる会員向けに提供されるものだ。同サービスでは従来、「PC-VANナビゲーター」や「ワールドトーク」などの専用ソフトでもWWWの閲覧が可能だったが、PPP接続が可能になることにより、ネットスケープ・ナビゲーターやインターネット・エクスプローラーなどが利用できるようになる。PPP接続で利用できるサービスは、WWW、ネットニュース、FTPなど。メールサーバーはPPP接続では提供されない。メールについては従来のとおり、パソコン通信形式で接続して利用する。

### 各地のプロバイダーが集まり インターネットビジネス推進協議会発足

各地のインターネット接続サービスプロバイダーを運営する企業を中心となって集まり、「インターネットビジネス推進協議会（略称：IBA）」を発足した。同協議会は、インターネットにおけるさまざまなビジネスの促進を目的としている。エレクトロニックコマースの研究など、接続サービス以外のコンテンツビジネスの研究も対象としているほか、進歩の速いインターネット技術に関する情報交換を行うことにより、横のつながりを強くし、それぞれのサービスに役立てる。会員企業は現在約30社。今後はプロバイダー間の業務提携などの可能性もあるとアナウンスしている。会長には東京を拠点とする接続サービス「ネットラビュタ」を運営しているスペースプライの田畑勝朗氏が就任した。

注：問い合わせは巻末の「主な商用ネットワークサービスプロバイダー料金一覧」をご覧ください。

# 「自由化」と「規制」の間で賛否両論 デジタルネットワーク時代に向けて 改正された米国通信法

約60年ぶりに通信法の大幅改正が米連邦議会で成立した。これにより、米国では通信、放送、ケーブルテレビ、オンラインネットワークなどを統合するデジタルネットワーク時代が到来する。おもな改正点は次のとおり。

## ① 地域電話市場への参入

最大の改正点は、地域電話市場の開放を正式に認めたこと。これまでカリフォルニア州やニューヨーク州北部などで部分的に進んでいた地域電話市場開放は、これで正式に連邦法レベルで展開される。

## ② 長距離電話サービスへの参入

地域電話市場の開放と引き替えに7大地域電話会社（RBOC）は長距離電話サービス市場への参入が認められる。

今回の改正では長距離と地域の相互乗り入れではなく、地域市場開放を優先させる。開放度を証明する方法として、14項目からなるチェック項目が採用された。

## ③ 放送業界の再編成

従来、テレビ局の寡占を防ぐために1社で持てるテレビ局の上限は全人口の25%をカバーするまでとしていたが、今回、これを35%に引き上げた。これにより、各ネットワークの買収合戦が展開されるだろう。懸案だった暴力/猥せつ番組を規制するデバイス（俗称Vチップ）の受信機への装着が義務づけられた。

## ④ ケーブルテレビ

これまでFCC（連邦通信委員会）による厳しい料金規制に不満を持っていたケー

ブルテレビ業界は、今回の改正で大きな利益を得た。

現状の料金規制はケーブルテレビ大手事業者を対象に今後3年間は維持、それ以後は自由化される。また、ケーブル回線を使った電話サービス（ケーブルテレフォニー）も本格化させる。

## ⑤ 電話事業者による放送事業

電話事業者による放送事業への参入が認められた。独占市場だったケーブルテレビ業界は、電話事業者と競争の時代を迎える。電話事業者は従来の有線系ばかりでなく、サテライトや無線による新しい伝送路も認められる。

## ⑥ クロスオーナーシップ

電話会社によるケーブルテレビの買収やその逆などのクロスオーナーシップ規制は大幅に緩和される。これにより電話会社によるケーブルテレビ局の買収が一層進む。しかし、小地域事業者におけるクロスオーナーシップ禁止は維持する。

## ⑦ インターネット/オンライン事業者

一方、パソコン通信を使ったポルノ画像などの猥せつ物の掲示は厳しく規制し、最高で懲役2年と罰金10万ドルを科す罰則を設けた。

## ⑧ ユニバーサルサービス

通信法1996は、ユニバーサルサービスについては不十分との批判が多い。地域電話会社は、これまで地域独占のかわりに低所得者や僻地での電話設置などのユニバーサルサービスを強制されてきた。今回の市場開放に伴い新規参入者にも、このユニバー

サルサービスの負担を義務づけられることとなる。現状では基金の設置など財源の確保と負担方法の確立などが明確になっていない。州の公益事業委員会やFCC（連邦通信委員会）により今後検討される。

## ⑨ デジタルテレビ事業免許の競売

現在のアナログテレビ放送は、ここ5～6年のうちにデジタルへの移行が進められる。それに伴いデジタルテレビ周波数免許の競売案が議会で検討されてきた。今回の改正では、一応無料となったが、議会はこの問題の見直しを行う。

## ⑩ 相互主義による門戸開放

相互主義による米通信市場の国際的な門戸開放をうたい、間接的に米通信業界の国際化、海外市場進出を支援している。

## 放送と通信の融合

このように、今回は通信、放送、オンラインなど広い範囲で改正が行われたが、企業の対応も迅速だ。通信法1996の成立を受け、AT&Tはデジタル衛星放送のパイオニア「ディレクTV」への出資とAT&Tの販売網によるディレクTVのセールス（電話と放送の統合営業）を行う。また、ディズニーは地域電話会社の放送事業向けにコンテンツ提供を行う一方、4大ネットワークの1つキャピタルABCを買収するなど、メディアの垂直統合が進んでいる。

## 猥せつ罰則に大混乱のネット

一方、⑦のインターネット/オンライン事業者に関する法案には大きな反対運動が展開されている。シビル・リパティエ・グループやクラリネットなど複数の団体や企業が、今回のネットにおける猥せつ物罰則規定を「表現の自由に反する」として裁判を起している。また、反対の意思表示として成立後48時間、バックを黒くしたウェブサイトは全米で約500を数え、一部新聞雑誌でも、反対勢力支持の記事を掲載した。（小池良次 / IMMERS代表）



## 国内初の逮捕者を出した 個人ホームページの「わいせつ画像」

警視庁保安課は2月1日、ホームページにわいせつな画像を流していたとして、東京都江戸川区に住む28歳の会社員をわいせつ物公然陳列罪で逮捕した。また、同容疑で東京都品川区に住む16歳の高校生にも事情を聴いた。両者はベッコアメインターネットの会員で、問題の画像が掲載されたのはベッコアメの会員が自由に利用できるユーザーホームページである。警視庁は会社員と高校生の自宅のほか、運営元のベッコアメインターネットも自宅捜索した。会社員はCD-ROMなどから転載したセックスシーンの画像などを昨年12月から67種類、約300枚を掲載していた。

ベッコアメに限らず、個人が付加料金なしでホームページを掲載できるサービスは、現在プロバイダーの人気サービスの1つにな

っている。また、どのページが人気があるかというアクセスランキングも発表されており、「アダルト向け」のタイトルが圧倒的に人気があるのが実状だ。

3000件以上のホームページを管理するベッコアメの尾崎憲一社長は、「ユーザーホームページの掲載内容は原則として自由であり、規制していない。しかし法律は遵守するべきであり、両名には警告を出していた」と話している。一方同じプロバイダーでパソコン通信サービスも運営するASAHIネットは、今回の事件はインターネットへの否定的な見方を強める「重大な事態」として見解を発表した。それによると、電子ネットワークは無法地帯ではなく「法律の遵守」はもちろんのこと、プロバイダーは参加者側に「情報発信の責任」にもとづいた「自浄作用」を促す必要があるとプロバイダーの社会的責任を強調している。

先に可決した米国の電気通信改革法に盛り込まれたわいせつ表現の規制（240頁参照）は、憲法で保障された表現の自由を侵害するものだと500以上のサイトで抗議運動が起こっているが、現在のところ今回の逮捕に対する目立った反発の声はあがっていない。



ベッコアメ・ユーザーホームページのトップ画面。趣味的なものからビジネス広告まで内容はさまざま。

## 3月27日～28日の2日間

### APEC研究開発情報化シンポジウム開催

アジア太平洋地域でインターネットの発展に寄与してきたAPEC各国の政府・学術研究・産業分野の人たちが出席し、各国の状況・展望などを語るシンポジウムが3月27日と28日に科学技術庁と通産省工業技術院の主催で開催される。テーマは「インターネットの将来像 - アジア太平洋諸国を結ぶギガビットネットワークの実現に向けて」。現在参加申し込みを受け付けている。

#### 【場所】

つくばEXPOセンター（筑波学園都市バスセンターそば）

#### 【予定講演】

「APEC地域を結ぶネットワークの社会経済に与えるインパクトについて」

#### 牧野昇（株）三菱総合研究所顧問

「オセアニア地域におけるインターネット及び超高速ネットワーク研究の現状と将来」マイケル・A・マックロビー オーストラリア国立大学情報科学研究センター所長（オーストラリア）

「GIIへ向けたインターネットの将来像」スティーブン・N・ゴールドSTEIN NSFネットワーク部門プログラムディレクター（米国）

「カナダにおけるインターネット及び超高速ネットワーク研究の現状と将来」アンドリュー・K・ビヤリング CANARIE社社長（カナダ）

「超高速ネットワークの可能性」村井純慶 慶應義塾大学環境情報学部助教授 / WIDE プロジェクト

「Asian Highway - Why not Gigabit Network?」キルナムチョン 韓国科学技術院教授（韓国）

## パネルディスカッション「アジア太平洋地域のギガビットネットワークの将来像」

ほかテーマ別講演など

#### 【参加方法】

氏名 / 社名・所属・役職 / 住所 / 電話番号 / FAX番号 / 電子メールアドレスを書いて事務局宛てにFAXまたは電子メールで申し込む。定員330名になり次第締め切り。参加費は無料。

#### 【問い合わせ】

APEC研究開発情報化シンポジウム事務局（科学技術庁科学技術情報課、通産省産業省工業技術院総務部計画課）

TEL 03-3581-3757 FAX03-3595-0567

電子メール apec@sta.go.jp

URL [http://www.aist.go.jp/apec/apec\\_j.html](http://www.aist.go.jp/apec/apec_j.html)

## コマースサーバーの認証局 日本向けサービス開始

ビーユージーの子会社であるバイスは、米ベリサイン社からライセンスを受け、ネットスケープコマースサーバーに対応する電子印鑑証明書 (Digital ID) の日本向け発行サービスを2月8日より開始した。ベリサイン社は世界初の認証局として、インターネットやそのほかのネットワークで電子印鑑証明書を米国を中心に発行している。証明書はRSA データセキュリティ社の公開鍵暗号技術を使用しており、セキュリティ技術を搭載したネットスケープコマースサーバーとともに使用することによって、ユーザーはアクセス中のサーバーが本物であること、サーバー内のデータが第三者によって改ざんされていないことが確認できる。

問い合わせ (株)ビーユージー RSA プロジェクト  
TEL 011-807-6631

電子メール rsaproj@bug.co.jp

## 3次元のコマース実証実験 NTTデータ通信が4月から

NTTデータ通信は、インターネット上の電子商取引にマーケティングの機能を加えた3次元エレクトロニックマーケットプレイス実験を4月から開始する。電子商取引の売買データだけでなく、サイバースペース内のユーザーの消費行動などマーケティングデータも収集できるようにする実験で、通産省の「エレクトロニックコマース推進事業」の実証実験にも選定されており、4月から2年間の予定で実施する。

電子決済に関しては、「INTER CAFIS」を活用して与信照会を行い、クレジットカードによる決済を可能にするほか、カードを持っていなくても、ユーザー登録すれば与信が行われ、買い物ができるような運営手法を採用する。これによりクレジットカードを持たない不特定多数のユーザーに対しても、クレジットによる与信と決済の機

## カードの電子商取引安全基準 マスターとビザが開発で協力

マスターカード・インターナショナルとビザ・インターナショナルは、インターネット上での安全なカード取り引きを実現させるため、オープンな統一基準を協力して開発することで合意した。これまで両社は独自の仕様で開発を続けてきたが、今後は両社が開発してきた技術を持ち寄ることにより、より効果的な仕様が開発されることになる。

統一基準の名称は「セキュア・エレクトロニック・トランザクション (SET)」で、この完成により、通常店舗での買い物と同様にインターネット上の店舗でもクレジットカードによる決済が安全かつ簡便に行えるようになる。両社では2月中旬にWWW上で新基準を公開し、関係者の意見や反応を集約したうえで、4月から消費者、加盟店、金融機関を対象とした運用試験に入る。試験終

能が開発・実証されることになる。

また、構築されるサイバースペースは3次元の“街”として展開。参加するユーザー同士がお互いを3次元のキャラクターとして見ることができ、ユーザー同士のコミュニケーションも可能となる。参加企業は100社以上で、ユーザーはオンライン登録により無料で参加できる。



問い合わせ NTTデータ通信(株) 市場創造部  
TEL 03-5546-8338

URL <http://www.nttdata.jp/>

了後、改良されたアップデート・バージョンがソフト会社に公開される予定で、今年中にはインターネット上での安全なカード決済サービスが提供できると見込んでいる。

問い合わせ マスターカード・インターナショナル日本支社 TEL 03-5350-8051

URL <http://www.mastercard.com/>

URL <http://www.visa.com/>



## ベリフォンとネットスケープ 電子決済システムで提携

クレジットカードの与信照会や支払い処理システムを開発する米ベリフォン社とネットスケープコミュニケーションズ社が提携を発表した。両社は今年の第2四半期から第3四半期をめどに、インターネットから既存の決済ネットワークへのゲートウェイシステムを開発する。また、ベリフォン社は同社が開発した決済処理機能とネットスケープのサーバー製品を組み合わせたシステムを小売店や金融機関向けに販売する。ベリフォン社は、世界90か国以上に480万台以上の端末を出荷しているオンライン決済システムの最大手メーカー。インターネット上のカード取り引き用のソフトウェアなどもすでに発表しており、いろいろなセキュリティプロトコルに対応させている。

URL <http://www.verifone.com/>

## 暗号技術のRSA 子会社日本RSA設立

エレクトロニックコマースのインフラとなる暗号技術を開発している米国RSAデータセキュリティ社は、2月8日、子会社「日本RSA」を設立したと発表した。東京に拠点におき、日本の開発者に向けて暗号関連技術を提供する。日本RSAの会長には米RSA社社長兼最高経営責任者のジェームズ・ピソス氏が就任することになった。

同社の暗号技術は、ビザ・インターナショナルとマスターカード・インターナショナルが開発中のSET(Secure Electronic Transactions)や、ネットスケープの製品、マイクロソフトのウィンドウズ、インチュイット社のクイックンなどさまざまな製品で使われており、事実上のスタンダードになっている。同社はNTTなどの日本の有力企業との提携に動いているという。

URL <http://www.rsa.com/>

## プライバシー強化版 TELNET WIDE と富士通研が開発

WIDEプロジェクト(代表・村井純慶應義塾大学教授)は富士通研究所と共同で、インターネットで遠隔地のコンピュータにログインする際にプライバシーを確保する新技術「PET(Privacy Enhanced Telnet)」を開発し、2月19日からフリーソフトとして配布している。これまでのTELNETはパスワードによる認証が使われていたが、PETはDES暗号で通信データを暗号化することができ、さらにRSA暗号を用いた公開鍵証明書による認証を採用して不正アクセスができないようにした。セキュリティレベルは5段階あり、サーバーとクライアント側双方から指定できる。

URL <ftp://sh.wide.ad.jp/WIDE/free-ware/pet/pet-X.XX.tar.gz> (X.XXはバージョン番号)  
詳細技術について [pet-info@wide.ad.jp](mailto:pet-info@wide.ad.jp)

## 株式市況ニュース 大和総研のページで提供

大和総研は、2月9日よりインターネットで東証の株価の動きを伝える株式市況ニュースの提供をスタートした。東証1部の値上がり率、値下がり率、売買金額の3つのリストから、それぞれ上位10銘柄、計30銘柄について、毎日午後6時半頃同社のホームページに当日の情報が掲載される。各銘柄のデータは、始値、終値、高値、安値の4本値や前日比、売買高などで、このほかに東証株価指数や市況の動向に関するコメントも提供している。現在はすべて無料。今後は株価チャートの提供など情報を拡大する予定だ。また、グループ企業の大和証券では3月中にもインターネットでミニ株の注文受け付けを開始するほか、同社の顧客向けに株価速報の提供も予定しているという。

URL <http://www.dir.co.jp/>

## 資生堂が非常時用の掲示板 ホームページ上に開設へ

資生堂は、ホームページを震災発生時の非常掲示板として利用するためのテスト運用を始めた。大震災が発生した場合、通常のホームページ上に非常掲示板を設け、被災者向け情報、取り引き先向け情報と、同社従業員向けメッセージを掲示しようというもの。被災者向け情報としては、同社建物の臨時避難所としての提供状況、被災地への同社製品の提供状況を、取り引き先向けには商品の出荷状況を掲示する。また、従業員向けはパスワード入力により現れ、同社災害対策本部からの連絡事項や、従業員の安否状況などを表示する。4月から、URLを記載した「SAFTY CARD」を取り引き先と全従業員に配布して本格稼働させる。

問い合わせ (株)資生堂 TEL 03-3572-5111

URL <http://www.shiseido.co.jp/j/home.html>

## IBMの情報検索サービス infoMarketの機能拡大

米国IBM社は、幅広い情報リソースから必要な情報を検索して取り出せるネットワークサービス「infoMarket Service」の検索機能を強化した。新たに拡張した機能は、情報を取り出す前にその一部を参照できる「コンテンツ抜粋機能」や、検索結果をデータ別に分類して関連性の高いものから順にランク付けする機能、OR、AND、NEARを使用した高度な検索機能などで、これにより必要な情報へのアクセスが簡単になり、検索結果も読みやすくなった。また、「Business Research Service」をはじめ有力なコンテンツプロバイダー数社とも新たに提携し、これまで以上に広い範囲の情報リソースが利用できるようになった。

問い合わせ 日本アイ・ビー・エム(株)

TEL 0120-04-1992

URL <http://www.infomkt.ibm.com/>

## インターネットシティ 「デジタル原宿」始動

原宿の町をインターネットで活性化させようという「デジタル原宿」プロジェクトがスタートした。これは森ビルとテレビ朝日を中心となって進めている六本木六丁目再開発計画と連携した「サイバー66」の試みの中で始まったもの。サイバー66に賛同した35社の企業が集まる「マルチメディア都市研究会」(委員長・石井威望慶應大学教授)の研究活動の一環として位置づけられている。とくに、インターネットワールドエキスポ96の東京パブリックアクセスポイントであり、45Mbpsの回線を敷いているファッションビル「ラフォーレ原宿」をキーステーションにして、オンラインショッピングやラフォーレミュージアムのイベントの紹介などを行い、新しいマーケットの開発や商店街の活性化を図る計画。

URL <http://www.cyber66.or.jp/DH/>



## 渡辺香津美氏と菅沼幸三氏が WWWでジャズセッション

ジャズギタリストの渡辺香津美氏とジャズドラマーの菅沼幸三氏が主催するインターネット上のジャズイベント「YOKOHAMA HOT JAZZ INTERNET'96 梅一輪」が開かれる。NTTの技術協力により最新の音声圧縮技術「TwinQV」を使って音声を放送し、CD並みの音質が保てるかどうか、また、将来のミュージック・オン・デマンド放送に向けて著作権管理をどうするかといったいろいろなテーマを検証する実験的イベント。ユーザーはミュージシャンを組み合わせて、演奏順を自由に選択したりしてサーバーがミックスした音源をリアルタイムに聞くことができる。舞台となるWWWサイトはアーティストタウンヨコハマ（横浜田園共和国）。3月中旬から5月下旬までを予定している。

URL <http://www.gardencity.or.jp/artist/>

## 100人の写真家による 24時間の速報性写真展

去る2月8日、その日の出来事を世界各地に散らばった100人のカメラマンが撮影して現地からインターネットに発信するというイベントが開かれた。インターネットワールドエキスポに伴う米国のイベントの1つで、WWWの速報性を検証しようという実験プロジェクトである。『タイム』や『ニューヨークタイムズ』の記者など世界で活躍する約100人のカメラマンが各地で「サイバーフロンティア」「アースウォッチ」などさまざまなテーマで撮影し、画像はインターネットを使ってサンフランシスコの編集センターへ集められ、ホームページに掲載された。日本での画像のデジタル化と伝送は凸版印刷が担当した。2月8日の第1回は終了したが、今回は3月17日に開催される予定。

URL <http://www.cyber24.com/>

## フランキーオンラインが ウィンドウズ95にも対応

フューチャーパイレーツのパソコン通信サービス「フランキーオンライン」がバージョンアップした。これまでのウィンドウズ3.1とマック用に加え、2月からウィンドウズ95に対応。3月に発売されるピピンアットマークにもソフトが添付される。フランキーオンラインの目玉はリアリティオペレーション。CD-ROMとの連動により、仮想の島でショッピング、ゲーム、オンラインマガジン、カラオケなどを楽しめるほか、インターネットにも接続できる。さらに今後はフルCGによるデジタルムービーの上映などを予定している。入会に必要なCD-ROMの入手は住所・氏名・年齢・職業・電話番号と使用OSを明記して下記に申し込む。問い合わせ フランキーオンライン事務局 TEL 03-3498-1400 FAX03-3498-4700 電子メール [online@fpi.co.jp](mailto:online@fpi.co.jp)

## CD-ROM マガジンが ホームページ開設

リットーミュージックから刊行されているパソコン用CD-ROMレビュー雑誌『メディアダイレクトCD-ROM マガジン』が、3月1日、同誌と連動したホームページを開設する。ShockWaveを使用した各社CD-ROMのデモ版をはじめ、CD-ROM発売カレンダーや同誌のバックナンバーデータなど、誌面と連動した情報が掲載されるほか、編集スタッフによるお楽しみコーナーも用意される予定だ。また、CD-ROMエンターテインメントを制作する各メーカーやCD-ROMショップのホームページとのリンクも予定している。これに先立って2月29日発売号には、メディアダイレクトのホームページをはじめ数社のデータが付録CD-ROMに収録されている。収録されたブラウザを使ってインターネットを仮想体験できる。

URL <http://www.rittor-music.co.jp/md/> (予定)

## 専門学校インターネット協議会 80校が参加して発足

専門学校でのインターネットを利用した教育の普及を目的として、「専門学校インターネット協議会」が1月30日に設立された。インターネットの環境整備が遅れている専門学校の現状に立ち、個々の学校の枠組みを超えて、インターネットの活用に関する情報交換や環境整備を推進するもので、全国から約80校が参加している。行政や産業界とも連携を取りながら、インターネットを効果的に利用する研究会などを運用し、WWWサーバーも立ち上げる。さらに今後は、専門学校の特色を生かした教育コンテンツを公開し、社会人の生涯教育を支援するバーチャルカレッジを構築していく予定。

問い合わせ 専門学校インターネット協議会事務局 TEL 03-3369-9333

URL <http://www.voc.or.jp/vic/>

## 「カール」ホームページ開設 明治製菓が商品にURL印刷

カールおじさんでおなじみ、今年で発売28年目を迎えるスナック菓子「カール」のホームページを明治製菓が開設した。2月20日発売の新カールに関する情報などを提供するもので、CMに登場するタレントの宇崎竜童、瀬戸朝香に関する情報も掲載する。また、カールの商品パッケージの裏面には「カールの秘密をインターネットで大公開」というコピーとともにURLを刷り込み、インターネット利用を呼びかけている。

URL <http://www.meika.co.jp/karl/>



## WWWの有料情報サービス 野村総研が4月から開始

野村総合研究所は、同社のレポート内容、官公庁などのレポート・アンケート調査などの書誌データを、WWWを利用して有料で提供するサービス「NRI Cyber Serch」を4月から開始する。このサービスは、同社のレポート内容を提供する「NRI情報」と、官公庁・団体・調査機関などの発行したレポート・アンケート調査の書誌データを検索できる「Search情報」の2メニューで構成される。Search情報は、12分野、84カテゴリーに分類され、当初1万件でスタートするが、今後毎週約100件のデータを追加していく。利用料金は1端末につき年間3万円で、3月末までは無料公開している。

問い合わせ (株)野村総合研究所 情報リソース部 TEL 045-333-8100

URL <http://www2.nri.co.jp:8080/>

## パソコン通信上から手紙 郵政省がPC-VANで開始

郵政省は、1月31日からパソコン通信サービスPC-VANを利用し、パソコン通信上から郵便配達で手紙を送ることができる「コンピュータ郵便」サービスを開始した。利用できるのはPC-VANの会員のみ。これは、PC-VANのサービスから電子メールと同じように文面や相手の住所を書き込み、送信すると、郵便局でそのデータを受け取り、通常の紙の手紙にして配達してくれるというもの。料金は、A4サイズで1枚101円、2枚で106円。それ以上の枚数は受け付けていない。このほかにPC-VANの利用料は別途必要となる。郵政省ではこれまで電子データで手紙を受け付けるサービスは実施していたが、利用者はフロッピーディスクを郵便局に持ち込む必要があった。

問い合わせ NEC PC-VAN事務局  
TE03-3454-6909

## 5万円切る低価格TA 「AtermIT45」NECから

NECは、5万円を切る低価格のISDN用ターミナルアダプター「AtermIT45」を発売した。非同期/同期PPP変換機能により同期64Kbpsのインターネット接続が可能で、同期通信では最速57.6Kbpsの通信が行える。また、従来は1ポートしかなかったアナログポートを、新製品では2ポートに増設。片方のポートで通話中に新たな着信があった場合に、通話中の電話機のフックで着信に回答できる疑似コールウェイト機能も装備した。このほか、着信すると、サーバー側からクライアント側へ自動的にかけ直してクライアント側の通話料金を軽減できる機能や、停電時に電池で動作する機能なども搭載している。標準価格は49,800円。

問い合わせ NEC パーソナルC&Cマーケティング本部 TEL 03-3798-7862

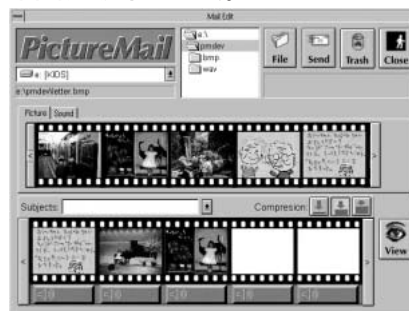
## 高速画像メールシステム ドームがニフティでサービス

パソコン通信で画像と音声のデータを簡単かつ高速に送受信できる新しいメールシステム「ピクチャーメール」をドームが開発、ニフティとの提携により今春からサービスを開始する。この新システムは、マウス操作だけで写真やCG、音声などのデータを通信ファイルとして作成でき、全自動で複数の宛先に送信できるもの。受信側では、メールをマウスクリックするだけで自動的に画像や音声を再生できる。

画像や音声のデータは容量が大きいため、従来のパソコン通信では送信時間がかかりすぎて実用的ではなかった。これに対し、ドームが開発したシステムは、通信ファイルを小さなデジタルデータに変換して送信するため、転送スピードを従来比20~30倍高速化でき、一般家庭のパソコンでも短時間で画像や音声データの送受信を行える

ようにしたのが特徴。

今回のリリースでは、送信側はウィンドウのみだが、受信側ではマッキントッシュも使用可能。年内には、受信した画像データを簡単な操作でプリントアウトできる機能などを追加してバージョンアップする。アプリケーションソフトはダウンロードして入手するが、利用料はメールを送信する時点で支払う形となる。今後は世界展開を図り、新しいメールシステムとしての標準仕様を提案していく。



問い合わせ (株)ドーム TEL 03-5449-1355

## FAXモデムカードが付いた インターネット接続キット

ディアイティは、マッキントッシュ用のインターネット接続キット「Internet Connect View with FAX Modem (PCカードFAXモデム付き)」を発売した。マッキントッシュ用のPPPドライバー「Internet Connect PPP」と、WWWブラウザ「Netscape Navigator 2.0日本語版」、それに28.8KbpsのPCカード型FAXモデム「Megahertz CruiseCard」をセットにしたもので、主要プロバイダーのアクセスポイントごとに接続スクリプトが約280種用意されており、アカウントを入力してメニューからプロバイダーとモデムを選択するだけで、初心者でも簡単にインターネットに接続できるのが特徴。価格は49,800円。

問い合わせ (株)ディアイティ 営業部

TEL 03-5634-7651

電子メール [info@dit.co.jp](mailto:info@dit.co.jp)



## オンラインサインアップできる インターネットソフト発売

トランスコスモスは、プロバイダーにオンラインサインアップのできるウィンドウズ95用のインターネットソフト「Mosaic in a Box2.0」を発売した。定価は3980円。画面からプロバイダーやアクセスポイントを選び、自分の情報を記入して送るだけで自動的にアカウントが発行され、ウィンドウズ95の必要な設定も自動的に行われる。決済はクレジットカードが前提で、カード情報はオンラインサインアップ時にトランスコスモス社のサーバーに送られて自動照会されるしくみ。対応するプロバイダーは、現在IIJ、InfoSphere、meshnetの3つ。4月からは独自の公開鍵暗号技術によるオンラインショッピングも提供する予定だが、サーバーなどの販売方法は現在検討中。

問い合わせ (株)トランスコスモス ネットワーク事業部 TEL 03-3584-2958

## WWWブラウザで使う カテナの英日翻訳ソフト

カテナは、WWWブラウザ専用翻訳ソフト「LogoVista E to J Internet」を5月上旬から発売する。言語学の世界的権威、ハーバード大学久野教授の基礎理論をシステム化したハイエンドの英日翻訳支援ソフト「LogoVista E to J」シリーズのインターネット版で、通信中にボタン操作することによりホームページ上の英文を日本語に一括翻訳できる。部分翻訳や辞書引き機能もある。単独では使用できず、インターネット環境とNetscape Navigatorが必要となる。価格は7,980円。また、同シリーズの最上位版「同pro Ver.3.0」(97,000円)を4月下旬に、パーソナル向け「同 Personal Ver.3.0」(39,800円)を6月に発売する。

問い合わせ カテナ(株)ソフトウェアプロダクツ事業部 TEL 0423-38-1118

## カラーデジタルスキャナー マック用をソニーが発売

ソニーは、写真や雑誌などの画像を手軽にパソコンに取り込めるマッキントッシュ対応のカラーデジタルスキャナー「CDS-D1M」を発売した。写真や本など読み取る対象によってスキャン方式を選択でき、簡単・確実に画像を取り込めるのが特徴。RGB各色10ビットで、1024階調の読み取りができる。重量約560gと小型軽量で携帯性にも優れている。価格は40,000円。



問い合わせ ソニー(株) 東京お客様ご相談センター TEL 03-5448-3311

## ホームページ編集ソフト 「こざいく」コダックから

ビジョンコーポレーションは、ホームページをワープロ感覚で編集するソフト「こざいく WebDesigner V1.0」を開発した。HTMLの知識がなくても、文字のサイズや画像ファイルやページ間のリンクをドラッグ&ドロップで指定でき、入力フォームや表なども画面上で作成できる。ブラウザ機能も搭載し、ホームページを参照できるほか、作成したファイルの管理を自動的に行うので更新や修正も簡単になる。さらにボタン200種類、バックグラウンドパターン50種類など画像素材を収録している。発売はマッキントッシュ版が4月下旬。ウィンドウズ95版が6月下旬の予定。価格は198,000円。販売は日本コダックが行う。

問い合わせ 日本コダック(株)  
TEL 03-5488-2349

URL <http://www.visionj.co.jp/>

## ジェネラルマジックが WWW用エージェント無償配布

米国ジェネラルマジック社は、インターネット上にエージェントを派遣して目的の情報を発見する機能を持つ開発用ツールキット「Telescript Active Web Tool」プレリリース版の無償配布を開始した。WWW上でエージェント機能を用いたサービスを開発するためのもので、同社のプログラミング言語である「テレスクリプト」に基づいている。エージェントには個人属性情報が付加されているため、ユーザーがインターネットに接続していない状態でも自律的に働き、目指す情報を発見すると、電子メールやFAXなどでユーザーに通知する。このツールはCD-ROMで配布され、ホームページが電話で申し込む。

問い合わせ ジェネラルマジック社東京事務所 TEL 03-5821-0436

URL <http://www.genmagic.com/awt/>

## マック用の本格的DNS 「QuickDNS Pro」登場

アイスランドのメン・アンド・マイス社は、マッキントッシュ用のドメインネームサーバー「QuickDNS Pro 1.0」を発表した。プライマリーネームサービス、リカーシブネームサービス、1つのコンピュータ名に対して複数のIPアドレスを順番に割り当てる機能などを備えている。これまでUNIXでなければ実現しなかったドメインネームサービスのほぼ全機能をマッキントッシュで提供できるという。設定は、GUIの設定ツールで簡単にできるほか、UNIXのBINDの設定ファイルから変換するツールも用意されている。価格は290ドル。同社のサイトからダウンロードしてクレジットカードによる購入が可能。このほか機能をキャッシングだけにしぼった「QuickDNS Lite」もリリースしている。価格は49ドル。

URL <http://www.menandmice.is/>

## NT対応サーバー構築キット 大塚商会とネットワークから

大塚商会は、系列のネットワークが提供するウィンドウズNT対応版のインターネットサーバー構築キット「Internet Suite 1.0」の販売を開始した。WWWサーバー用の「Purveyor for WindowsNT 1.1」（98,000円）とメールサーバー用の「post.office v1.9.1」（88,000円）、ドメインネームサーバー用の「Domain Name System 1.2」（84,000円）の3製品のパッケージで、個別販売も行うが、セットでは265,000円の割引価格となる。ウィンドウズNTをプラットフォームとしているのでUNIXに関する知識を必要とせず、一般のシステム管理者でも容易にインストールでき、運用サポートも行える。

問い合わせ (株)大塚商会 インターネットグループ TEL 03-5275-9101

URL <http://www.alpha-web.or.jp/>

## SOHO機器のPipelineに 手軽なISDNルーター登場

米アセンドコミュニケーションズの日本法人であるアセンドジャパンは、ISDNリモートアクセスルーター「Pipeline25 ISDN」を新発売した。イーサネットにつながったLANを接続して最大128Kbpsのデジタル通信ができるほか、アナログポートを2つ装備しているので、電話やFAXなども接続できる。ISDNによる遠隔地のLANへのリモートアクセスやインターネットへの接続に最適な製品。PipelineはSOHO（ソーホー:スモールオフィス・ホームオフィス）のニーズに応える通信機器のシリーズ。新製品はローエンドユーザー向けの低価格製品。実売価格は販売店によるが、10万円～15万円ぐらいになるといふ。

問い合わせ アセンドジャパン(株) マーケティング担当 TEL 03-5322-2850

URL <http://www.ascend.co.jp/>

## 多機能リモートアクセスサーバー ビー・ユー・ジーが発売

ビー・ユー・ジーは、モデム/FAXサーバー、プリンタ共有などの機能をもつ多機能リモートアクセスサーバー「NetEntrance Ver2」を2月末から発売する。従来の機能に、遠隔地のコンピュータから公衆回線を使用してネットワークに接続するためのPPP-IPサーバー機能などを新たに加えたもので、価格はベーシックパッケージで288,000円。



問い合わせ (株)ビー・ユー・ジー 営業本部東京営業部 TEL 03-3486-6710

## 日本DECがファイアウォールと グループウェアなど発売

日本デジタルイクイップメントは、インターネット用セキュリティソフト3製品と、オフィスツール1製品を発売した。セキュリティソフトは、ミドルクラス向けファイアウォール「Digital Firewall for UNIX」（150万円）と、ローエンド向けの「Bordeware」（75万円より）、パケットを暗号化する「Digital Internet Tunnel」（サーバー側85万円、クライアント側15,000円）の3製品。

オフィス・ツールは、グループウェア「Digital Workgroup Web Forum」（1サーバー当たり30万円）で、クライアント側にWWWブラウザさえあれば利用できるのが特徴。

問い合わせ 日本デジタルイクイップメント(株) TEL 03-5349-7111

URL <http://www.dec-j.co.jp/>

## NT用のWWWサーバーを マイクロソフトが配布

マイクロソフトはウィンドウズNTサーバーVer.3.51上で動作する「Microsoft Internet Information Server（略称:IIS）」英語版の無償配布をホームページで開始した。IISは、NTサーバーVer.3.51の機能の一部として位置づけられており、WWWやFTP、Gopherなどのサーバー機能を追加するソフト。ゲートウェイ機能をDLLにしているので、バックエンドのデータベースやメッセージングシステムの負荷を軽減して高速なウェブサーバーを構築できる。IISは、3月からマニュアルを添付したパッケージ製品としても販売されるが、今年第4四半期に出荷を予定しているNTサーバーの次期バージョンには標準搭載される予定だ。

問い合わせ マイクロソフト(株) インフォメーションセンター TEL03-5454-2300

URL <http://www.microsoft.co.jp/>

## 統合型サーバーソフト 日本オラクルが発表

日本オラクルは、データベース管理システムOracle7を核にして、Oracle WebServerやOracle PowerBrowserなどのインターネットソフトや電子メールやスケジュール管理などのグループウェア、分散管理ソリューションなどさまざまな機能を提供する統合型サーバーソフト「Oracle Inter Office Suite」を発表した。大規模なビジネスアプリケーションを提供する「Oracle Enterprise InterOffice」と小規模な業務アプリケーションのための「Oracle Workgroup InterOffice」の2種類があり、それぞれウィンドウズNTとソラリスに対応する。クライアントソフトはウィンドウズ95とWWWに対応する新しいソフトを提供。96年第3四半期から出荷を開始する。価格は未定。

問い合わせ 日本オラクル(株) クライアントサーバー事業部 TEL 03-5213-6323

## 「インターネットエキスポ'96」通信 No.5

開催期間:1996年1月1日~1996年12月31日まで



## エキスポ・パブリックアクセスポイントに行ってみよう!!

高速回線でエキスポに今すぐアクセス!

メイン会場入り口  
日本ゾーンの入り口URL <http://park.org/>URL <http://www.expo96.ad.jp/>

## アクセスポイントが続々オープン

先月号でお知らせしたエキスポのパブリックアクセスポイント。ここからインターネットに接続して、国内外のパビリオンを見ることができる。

1月末までに都内でオープンしている会場は、銀座ソニービル(東京都中央区銀座5-3-1)、NTT新宿本社ビル(東京都新宿区西新宿3-19-2)、NTT 電ヶ関コミュニケーションセンター(東京都千代田区電ヶ関3-2-5 電ヶ関ビル30F)、ラフォーレ原宿(東京都渋谷区神宮前1-11-6)の4か所。インターネットマガジン編集部では、早速それらの会場取材してみた。

まず、行って見たのが、銀座のソニービル。4階に上がると、フロア一面インターネットといった感じ。会場には7台のWin-

dowsマシンが設置され、45Mbの高速回線でエキスポに接続されている。試しにアクセスしてみたところ、速い、速い。取材していることを忘れて、ついハマってしまった。当日、会場に来ていた人に突撃インタビューを試みたら、インターネットに初めて接したという人は5人中、4人。初心者のためのマニュアルがあると便利なのだが……。同会場は年中無休、午前11時から午後7時まで開いているのがうれしい。

次は、NTT新宿本社ビル。都営新宿線初台駅で降りると、目の前にNTTの巨大な本社ビルが。正面入り口のすぐ近くに端末が3台設置されている。会場ではコンパニオンの女性が使い方を親切に説明してくれるので、初心者でも安心だ。また、NTT電ヶ関コミュニケーションセンターのほうは、電ヶ関ビルの30階にある。エレベーターを降りてすぐ右のほうに進んでいくと、

端末が4台設置されたアクセスポイントがある。こちらは専門のインストラクターはいないようだが、問い合わせれば対応してくれるとのこと。どちらも土日祝休。

最後は、ラフォーレ原宿。1階奥の階段というわかりやすいところに端末が設置されているが、バーゲン時は撤去されてしまうので、要注意!

1月末までにオープンした4会場の報告は以上。来月も新情報をレポートする予定なので楽しみに。



▲ NTT 電ヶ関コミュニケーションセンター (30F)

## 2月未までに開設される予定のパブリックアクセスポイント

## NTT ショールーム

北海道札幌市中央区大通西2丁目  
NTT トークプラザ2FNTT マルチメディアコミュニケーションスペース  
メボラ宮城県仙台市青葉区一番町2-8-1  
NTT 仙台支店1F

## KDD 大手町万博体験コーナー

東京都千代田区大手町1-8-1 KDD 大手町ビル

## NTT トーキョーボード横浜

神奈川県横浜市西区高島2-18-1  
横浜新都市ビル9F

## NTT マルチメディアパークNAGANO

長野県長野市新田町1137-5 NTT 信越ビル1F

## NTT 情報館プロボ名古屋

愛知県名古屋市東区東桜1-13-3  
NHK名古屋放送センタービルB1F

## NTT マルチメディアスクエア

石川県金沢市香林坊1-1-1  
香林坊アトリオビル4F

## NTT マルチメディア館

広島県広島市基町6-78 基町クレド6F

## NTT 四国マルチメディアプラザ

愛媛県松山市一番町4-3 四国INSプラザ1F

## NTT PATIO-Q

(マルチメディアプレゼンテーションプラザ)  
福岡県福岡市博多区博多駅前1-17-21  
NTT データビル1F▶ NTT 新宿  
本社ビル

▲ 銀座ソニービル4Fの会場



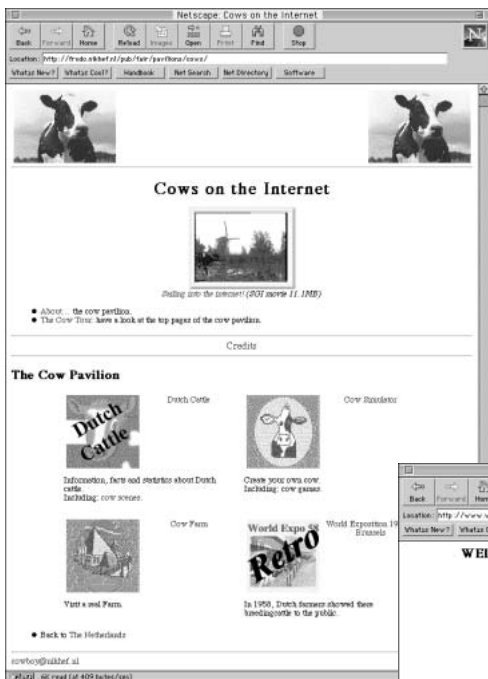
世界各国のパビリオンを  
のぞいてみよう

先月号では日本の企業が出展しているパビリオンを紹介したが、今月は世界のパビリオン(<http://japan.park.org/Regions/index.text.html>)を見てみよう。エキスポのトップページ(<http://park.org/>)に行き、そこから「Regions」を選ぶと、世界のパビリオンにアクセスできる。1月末現在でオープンしているのは、オーストラリア、ベルギー、カナダ、エクアドル、フランス、ドイツ、ハンガリー、インド、イタリア、日本、カザフスタン、韓国、オランダ、ペルー、ロシア、シンガポール、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、台湾、タイ、イギリス、アメリカの24か国。

文章だけしかないウェブからビデオやオーディオの最新ツールが楽しめるウェブまで、その内容やレベルは各国さまざま。パビリオンを見れば、その国のインターネット事情がよく分かる？

THE INTERNET 1996 WORLD EXPOSITION

エキスポ事務局問い合わせ先  
インターネット1996ワールドエキスポ  
日本組織委員会事務局  
財団法人テレコム高度利用推進センター  
東京都港区麻布台1-11-10 日総22ビル  
TEL 03-3583-2637 FAX 03-3583-2638  
E-Mail [info@expo96.ad.jp](mailto:info@expo96.ad.jp)



NETHERLAND

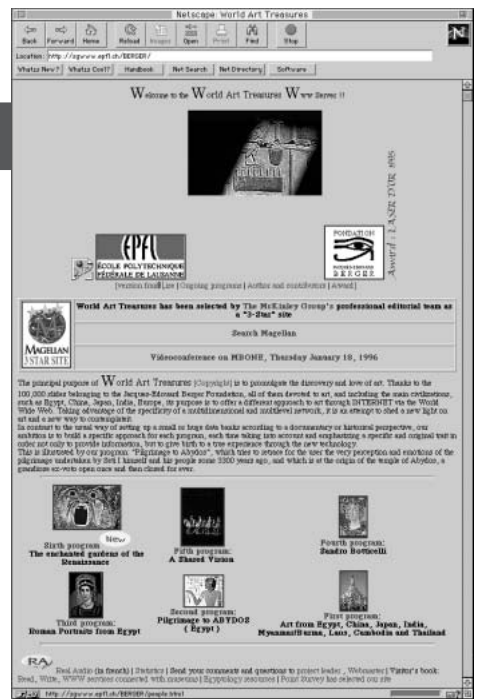
URL <http://frodo.nikhef.nl/pub/fair/pavilions/cows/>

▶ オランダのパビリオン。このページでは、SGI Movieでオランダの牛のビデオが見られる。牛の種類から農場の紹介まであり、牛好きにはたまらない？

SWITZERLAND

URL <http://sgwww.epfl.ch/BERGER/>

▶ エジプトや古代ローマの秘宝など、世界の貴重な美術品を集めたスイスのパビリオン。画像が多いので接続には多少時間がかかるが、一見の価値あり。



UNITED KINGDOM

URL <http://town.hall.org/Archives/radio/Mirrors/WRN/index.html>

▶ 世界のラジオ放送がRealAudioで聴けるページ。イギリスのパビリオンの中にある。ここからStreamWorksもダウンロードでき、オーディオ、ビジュアルツール満載の楽しいサイトだ。回線の太いパブリックアクセスポイントからアクセスすれば、快適なネットサーフィンができるかも。





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)